

講師紹介



富士通総研 専務取締役
根津 利三郎

東京大学経済学部卒業。ハーバードビジネススクール卒業 (MBA)。通商産業省 (現経済産業省) 国際企業課長などを経て、95年 経済協力開発機構 (OECD) 科学技術産業局長。2001年 富士通総研入社。2004年より現職 (富士通総研 専務取締役)。

著書「IT戦国時代」(2002年 中央公論新社)、「日本のモノづくり52の論点 (共著)」(2002年 日本プラントメンテナンス協会編)、「雇用改革—「雇用の質」を改善せよ— (共著)」(2007年 東洋経済新報社)。



富士通総研 常務取締役
伊藤 大吾

富士通入社以来、主に製造/流通業を中心としたシステムエンジニアとして従事。2001年e-Japanプロジェクトを推進、2003年富士通常務理事/コンサルティング事業本部長を経て、2007年富士通総研 常務取締役就任 (現在に至る)。

著書「ロジスティクスが会社を変える (共著)」(白桃書房)、「中間流通は誰が担うか (共著)」(白桃書房)、「上手なITコンサルティングの使い方 (共著)」(ダイヤモンド社) 他

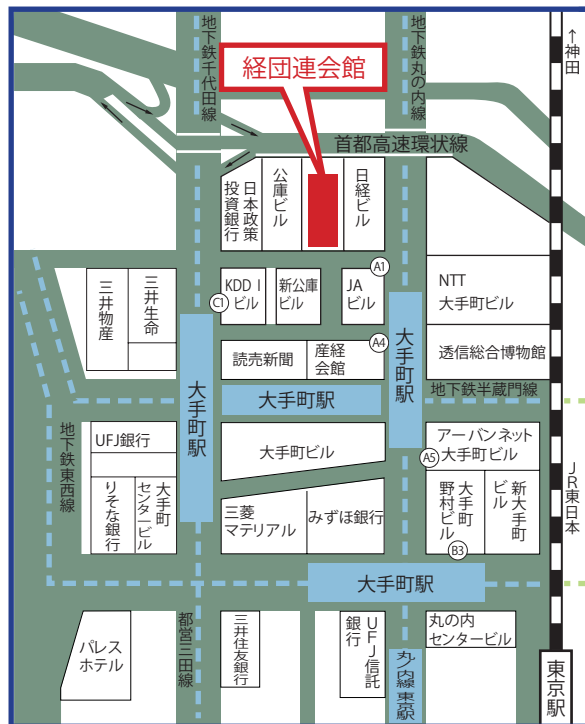


富士通総研 取締役
徳丸 嘉彦

- 富士通入社
- システム開発部門所属
- 帰任、システム企画コンサルティング部所属
- Fujitsu Australia Limited (FAL) 赴任
DMR Asia Pacific (現Fujitsu Australia Limited Consulting Group) 兼務
- 帰任、コンサルティング事業本部所属
- 同本部 副本部長就任
- 富士通グループのコンサルティング機能を富士通総研に集約 取締役就任

会場案内

経団連会館11階 国際会議場
〒100-8188 東京都千代田区大手町1-9-4
TEL (03) 5204-1500



地下鉄丸の内線大手町駅 (A 1 出口)より徒歩 1分
J R東京駅 (丸の内北口)より徒歩 15分

参加費 無料

株式会社 富士通総研

(富士通総研フォーラム事務局)

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1

ニューピア竹芝サウスタワー

TEL(03)5401-8434 FAX(03)5401-8409

ホームページアドレス <http://jp.fujitsu.com/fri/>

富士通総研フォーラム2008

低成長時代に立ち向かう 企業革新

～ 改めて“人”に着目する ～

日時：2008年11月19日(水) 13:30～17:00

会場：経団連会館11階 国際会議場



株式会社 富士通総研 (FRI)

ご挨拶

拝啓 錦秋の候、皆様ますますご清栄のこと
お慶び申し上げます。

富士通総研では、この度、「低成長時代に
立ち向かう企業革新 ～ 改めて“人”に着目す
る～」を開催いたします。

わが国は、サブプライムローン問題、原油や
穀物の価格大幅変動などによって、ビジネス
環境が非常に不安定な状況になっています。

低成長時代の中、ライフスタイルが大きく変
わりつつある生活者に対してビジネスをどのよ
うに変えていくか、また、そういった時代の要請
に応えるために企業側の体質改善をどのよう
に進めていくか。生活者と企業人といった行動
の原点ともなる“人”に着目した提案を、多くの
コンサルティング実践経験をもとに行います。

ご多忙中のことと存じますが、当フォーラム
にご参加賜りますようご案内申し上げます。

敬具

株式会社 富士通総研

代表取締役社長 長谷川 展久

13:00

受付開始

13:30～13:40

開会挨拶 富士通総研 代表取締役会長 高島 章

13:40～15:10

【基調講演】 富士通総研 専務取締役 根津 利三郎

不況の後の日本経済の回復への道のり

～ 克服すべき真の問題は何か? ～

現下の不況は、なぜ起こり、いつどのように克服されるのかを展望するとともに、回復後の日本
経済の姿を模索する。あわせて高齢化、環境問題、東アジア経済統合などの問題に対する、わが
国のあるべき方向を提示する。

15:10～15:30

(休憩)

15:30～16:15

【講演-1】 富士通総研 常務取締役 伊藤 大孝

転機を勝ち抜く新たな経営革新

～ 生活者起点とIT革新による新たな経営戦略 ～

日本の産業社会は、日本経済の成熟化、グローバル経済の景気低迷、環境や安心安全への対応
など企業を取り巻く環境は激変している。さらに、生活者の価値観とライフスタイルも大きく変
化している。この状況下において企業は、経営革新が求められており、ITを活用した新たな経
営戦略について事例を交えて提言する。

16:15～17:00

【講演-2】 富士通総研 取締役 徳丸 嘉彦

変化に強い「企業革新体質」確立のために

～ 人を主役としたプロセスとITの一体化手法 ～

経営環境変化は一層激しくなり、企業はその場しのぎの業務改革では追いつかず、企業革新体
質の確立が求められている。その対応策として、「事実に基づき人の意識を変え、新たな発想で
実現可能性の高いプロセスを生み出す」手法を具体事例とともにご紹介する。

17:00

閉会挨拶 富士通総研 代表取締役社長 長谷川 展久